

2010年 4月30日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 児童養護施設 れんげ学園

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

先進施設等の視察研修

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

職員育成の一環として他施設への視察・研修を実施の為の必要諸費用

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

毎年、園内・園外での種々の研修に参加し、自己研鑽に努めている。その中で各方面の同様施設や関係する諸機関を訪問し、当該施設の運営や職員体制、業務方法等を研修し、本学園の運営や日常業務に活かすため、視察研修を実施する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

児童養護施設は、全国に約500以上あり関東地区では150を超える施設があります。できれば全施設を視察しその運営方法など実際に研修することができればよいが、それは不可能であり近隣の関東地区内から、本学園と同規模施設を主体に、また正反対の小規模施設を選択することで、違った視点から学習することができた。

最近の入所児童は、被虐待が多く知的・情緒などの障害を持つものが増えているため、その対応も難しくなっているところから、障害施設や関係機関などでの研修も行うことができた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

毎年度に全職員を4班に分けて実施、都内或いは関東近県の児童養護施設又は関連領域の施設を視察することで、それぞれの施設等が行っている運営・処遇などを学習することで、職員として視野をひろげるとともに資質の向上にもつながり、そのノウハウを活かすことで、学園運営や子どもへの処遇に反映することができる。このことから、本事業は、引き続き実施していきたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり (特になし)